

## Q1 今期の事業環境を教えてください。

世界の経済情勢は、先進国、新興国を問わず好調と不調が混じりあう「まだら模様」です。このような状況で当社グループがやるべきことは、経済成長が続く地域に資源を集中して確実にビジネスを拡大し続けること、そして、東日本大震災を境に大きく変化した世界のエネルギー需要に確実に対応していくことです。

原子力発電の世界的な見直しと、それに伴う火力発電所用のLNGの需要が急拡大しており、米国では、従来採算が取れなかったシェールガスの採掘技術が進歩して、新たな天然ガスの供給源として開発が盛んになっています。当社グループはLNG用コンプレッサおよびポンプで世界有数のシェアを誇っており、日本へのエネルギーの安定供給のためにもしっかりと製品を供給していかなければならないと考えています。

## Q2 中期経営計画E-Plan2013を進めていく上でのポイントはなんですか。

E-Plan2013の基本方針の中で、特に「生産性革新のさらなる推進」と「サービス&サポートビジネスの強化」を進めていかなければいけないと考えています。

生産性革新については、国内で徹底的に磨きこんだ生産技術を海外生産拠点に次々と展開していき、グループ全体で生産技術を底上げしていくという大きな流れを作り上げていきたいと思います。

サービス&サポート事業については、いままでカバーしきれていなかったアフタービジネスについて、どうすれば我々の手に取り戻すことができるかを徹底的に考え

た上で、それを当社グループの収益源として取り込んでいくための施策を実行していきたいと思います。その基本は、お客様のそばでニーズを適宜把握し、“かゆいところに手が届く” サービスを提供し続けることです。それを実行していけばサービス&サポート事業の拡充は早期に実現できるものと思っています。昨年度の実績としては、中国とサウジアラビアにコンプレッサの拠点、韓国にポンプの拠点を設立しました。これからも拠点の拡充を進めていきます。

## Q3 株主還元について教えてください。

当社に投資して頂いている株主の皆様への利益還元は、長期にわたって安定的に行うことが大事だと考えています。E-Plan 2013をベースに着実に成長していくことで、株主の皆様へ適正な利益還元を実現していきます。

